

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

|         |                                  |   |
|---------|----------------------------------|---|
| 事業コード   | 24102101                         |   |
| 事務事業名   | 地域医療整備事業                         |   |
| 予算書の事業名 | 4.地域医療整備事業                       |   |
| 事業期間    | 開始年度                             | 平成18年度                                  |
|         | 終了年度                             |   |
|         | 当面継続                             |   |
|         | 業務分類                             | 5. ソフト事業                                |
| 実施方法    | <input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 | <input type="radio"/> 2. アウトソーシング       |
|         | <input type="radio"/> 3. 負担金・補助金 | <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営 |

|         |              |          |
|---------|--------------|----------|
| 部・課・係名等 | コード1         | 02050100 |
| 部名等     | 民生部          |          |
| 課名等     | 健康センター       |          |
| 係名等     | 健康づくり係       |          |
| 記入者氏名   | 亀田諭可         |          |
| 電話番号    | 0765-24-3999 |          |

|            |                       |        |
|------------|-----------------------|--------|
| 政策体系上の位置付け | コード2                  | 241011 |
| 政策の柱       | 第2章 安心して健やかにくらせるまち    |        |
| 政策名        | 第4節 健やかで共に支えあう福祉社会の構築 |        |
| 施策名        | 1. 生涯にわたる健康づくりの推進     |        |
| 区分         | 健康づくり・疾病予防            |        |
| 基本事業名      | 健康増進計画の推進             |        |

|      |            |           |
|------|------------|-----------|
| 予算科目 | コード3       | 001040101 |
| 会計   | 一般会計       |           |
| 款    | 4. 衛生費     |           |
| 項    | 1. 保健衛生費   |           |
| 目    | 1. 健康センター費 |           |

| ◆事業概要 (どのような事業か)  |  |   |                       | 実績      |        | 計画      |        |        |      |
|---|--|---|-----------------------|---------|--------|---------|--------|--------|------|
| 対象  | 目的<br>がんは、死亡原因の第1位となっており、核医学診断装置及び付属システム(以下PET/CT装置)によりがんの早期発見・早期治療を行うことで、健康寿命を延伸する。<br>また、地域がん診療連携拠点病院を担う富山労災病院へ検査装置を貸与することにより、市民および県民に対し、がんに関する質の高い医療提供体制を促進することができる。                  | 単位  |                       |         | 20年度   | 21年度    | 22年度   | 23年度   | 24年度 |
|   |  |   | 概要<br>富山労災病院への検査装置の貸与 |         |        |         |        |        |      |
| 手段  | この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。(※人や物、自然資源など)<br>市民および検査を必要とするがん患者(再発していないか検査するため)   | ① 市民  | 人                     | 46,036  | 45,562 | 45,562  | 45,562 | 45,562 |      |
| 意図  | (この事務事業によって、対象をどのように変えるのか)<br>がんの早期発見から早期診断、早期治療が一連に同病院で行なうことができることになる。また、他の診療所からの紹介により病診連携が図られ、市民にとって身近な地域で安心して医療を受けることができる。  | ②   |                       |         |        |         |        |        |      |
|   |  | ③   |                       |         |        |         |        |        |      |
|   |  | ① 実施施設  | 場所                    | 1       | 1      | 1       | 1      | 1      |      |
| その結果  | <平成21年度の主な活動内容><br>富山労災病院に検診業務委託およびPET/CT装置の貸与<br>*平成22年度の変更点<br>富山労災病院に放射線治療装置一式(リニアック)を有償貸与  | ② 受診者数(保険診療分)   | 人                     | 190     | 234    | 250     | 270    | 300    |      |
|   |  | ③ 受診者数(市助成分)  | 人                     | 132     | 90     | 120     | 120    | 120    |      |
|   |  | ① 要精検率(市助成分)  | %                     | 18.90   | 21.10  | 20.00   | 18.00  | 15.00  |      |
| ◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか)                   | 「がん」は今や日本人の死亡原因の第1位であり、富山県は多いほうに属し、とりわけ魚津市は男性の標準化死亡比が胃がんと肺がんで県内第1位を占めている。この高死亡率の対策の一環として、微小な病変の発見が可能であり、早期がん、再発の発見や病変の進行の評価がより正確に行えるPET/CT装置を平成18年6月から富山県で初めて富山労災病院に導入し、市民には2万円の助成をしている。 | ② がん死亡率(魚津市) 人口10万対   | %                     | 355.60  | 300.00 | 280.00  | 280.00 | 280.00 |      |
|   |  | ③ がん死亡率(富山県) 人口10万対   | %                     | 318.60  | 290.00 | 280.00  | 280.00 | 280.00 |      |
|   |  | ↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入   |                       |         |        |         |        |        |      |
| ◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) | 平成18年6月にがん対策基本法が公布され、市の責務として専門的ながん医療の提供等を行う医療機関の整備を図るための必要な施策を講ずることが明記された。平成19年6月に富山労災病院にPET/CT装置を導入した。また、富山労災病院核医学PET診断センターが開設された。その後、平成19年11月にとやまPET画像診断センターが開設された。                    | 財源内訳  | (千円)                  | 0       | 0      | 0       | 0      | 0      |      |
|   |  | ①国・県支出金   | (千円)                  | 0       | 0      | 0       | 0      | 0      |      |
|   |  | ②地方債  | (千円)                  | 0       | 0      | 0       | 0      | 0      |      |
|   |  | ③その他(使用料・手数料等)  | (千円)                  | 0       | 0      | 0       | 32,149 | 32,149 |      |
|   |  | ④一般財源   | (千円)                  | 61,397  | 61,397 | 108,560 | 42,616 | 42,616 |      |
| A. 予算(決算)額(①~④の合計)                                      | (千円)   | 61,397  | 61,397                | 108,560 | 74,765 | 74,765  |        |        |      |
| ◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入)         | 議会: PET/CTの活用促進や利用状況について   | ①事務事業に携わる正規職員数  | (人)                   | 3       | 1      | 1       | 1      | 1      |      |
|   |  | ②事務事業の年間所要時間  | (時間)                  | 124     | 50     | 50      | 60     | 60     |      |
|   |  | B. 人件費(②×人件費単価/千円)  | (千円)                  | 521     | 210    | 210     | 252    | 252    |      |
|   |  | 事務事業に係る総費用(A+B)   | (千円)                  | 61,918  | 61,607 | 108,770 | 75,017 | 75,017 |      |
|   |  | (参考) 人件費単価  | (円/時間)                | 4,205   | 4,205  | 4,205   | 4,205  | 4,205  |      |
| ◆県内他市の実施状況  |  | (把握している内容又は把握していない理由の記入欄)   |                       |         |        |         |        |        |      |
| ● 把握している  |  | PET/CT装置については、富山大学病院、砺波総合病院、黒部市民病院などに導入されている。平成19年11月20日に「とやまPET画像診断センター」が開設されている。(検診料金89,500円、受診者へ検診料金の助成を実施している市町村はある。1万円程度)富山労災病院は検診料金89,000円。 |                       |         |        |         |        |        |      |
| ○ 把握していない   |  |   |                       |         |        |         |        |        |      |

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

|   |   |
|---|---|
| 1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)   |   |
| <input type="radio"/> 直結度大<br><input checked="" type="radio"/> 直結度中<br><input type="radio"/> 直結度小   | 説明<br>検診を受診し、自身の健康を確認することは、疾病の早期発見・治療や受診者の意識を高めることにつながっている。 |
| 2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)   |   |
| <input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている<br><input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) のため、市による実施が妥当<br><input checked="" type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当<br><input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当<br><input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当 |   |
| 根拠法令等を記入  | なし  |
| 3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)  |   |
| なし  | 説明<br>現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。                              |

【有効性の評価】

|   |   |
|---|---|
| 4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)                  |   |
| なし  | 説明<br>住民の健康増進志向の高まりにより、新規での受診が増加していけば、がんの早期発見や悪化予防につながる。  |
| 5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明) |   |
| なし  | 説明<br>既に利用している方もいるが、PET/CT検査を検診として利用している場合は、胃・大腸・子宮・乳房・肺がん検診など他の検診と併用し、より正確な診断を受けることができる。疾病の治療を目的とした検査の場合は、保険診療の対象となるため、健康センターでのがん検診などと併用はできない。 |

【効率性の評価】

|   |   |
|---|---|
| 6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明) |   |
| なし  | 説明<br>予算は委託料と使用料及び賃借料であり、削減の余地はない。        |
| 7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)    |   |
| なし  | 説明<br>主な業務は、貸与に関する契約にかかる事務でありこれ以上は削減できない。 |

【公平性の評価】

|   |   |
|---|---|
| 8. 受益者負担の適正化の余地 (過去の見直しや社会経済状況等から)  |   |
| 特定受益者あり・負担あり<br>適正化の余地なし  | 説明<br>PET受診者には2万円の助成をしている。利用者は6万円で受けられる。                                      |
| 9. 本市の受益者負担の水準 (県内他市と比較し、今後のあり方について説明)  |   |
| <input type="radio"/> 高い<br><input type="radio"/> 平均<br><input checked="" type="radio"/> 低い | 説明<br>富山労災病院で受診する場合は、6万円で受けられるが、富山県PETセンターの場合は、8万9千円の自己負担であり、魚津市枠として1万円助成がある。 |

【必要性の評価】

|  |  |
|--|--|
| 10. 社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)  |  |
| <input type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い<br><input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い<br><input type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている<br><input checked="" type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある<br><input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある<br><input type="radio"/> 目的はある程度達成されている<br><input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない |  |
| 11. 事務事業実施の緊急性   |  |
| <input type="radio"/> 緊急性が非常に高い<br><input checked="" type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす<br><input type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている<br><input type="radio"/> 緊急性は低い、実施しなければ市民生活に影響が大きい<br><input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない  |  |

★ 評価結果の総括と今後の方向性

|  |  |
|--|--|
| 1) 評価結果の総括   |  |
| ① 目的妥当性  | <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり |
| ② 有効性  | <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 成果向上の余地あり      |
| ③ 効率性  | <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり     |
| ④ 公平性  | <input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり |
| 2) 今後の事務事業の方向性   |  |
| <input checked="" type="radio"/> 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施  | <input type="text" value="年度"/>  |
| <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止                             | <input type="text"/>   |
| <input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携<br><input type="radio"/> 目的見直し<br><input type="radio"/> 事務事業のやり方改善 |  |

★ 改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)

|        |               |  |                               |
|--------|---------------|--|-------------------------------|
| 実施予定時期 | 次年度 (平成23年度)  | 魚津市の死因別死亡第1位を占めるがんの資料体制の整備を図るため、富山労災病院に放射線治療装置 (リニアック) のを有償貸与した。PET/CTで早期に発見された「がん」患者を同病院で治療に結びつけ、患者の増加に繋げることができる。 | コストと成果の方向性                    |
|        | 中・長期的 (3～5年間) | 今後も市民病院の存在である富山労災病院に対し、機器等の貸与など支援していく。また、市民が安心して検診・医療を受けられるような医療体制の整備を推進していく。                                      | コストの方向性<br>維持<br>成果の方向性<br>維持 |

★ 課長総括評価 (一次評価)

|   |               |
|---|---------------|
| 魚津市の三大死因別死亡率第一位が、がんでありPET/CT検査により早期発見早期治療を行うことにより、健康寿命の延伸に繋がる。また、富山労災病院は、県の「がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、この検査装置を貸与することにより住民に対し、がんに関する質の高い医療提供体制を促進することができる。 | 二次評価の要否<br>不要 |
|---|---------------|